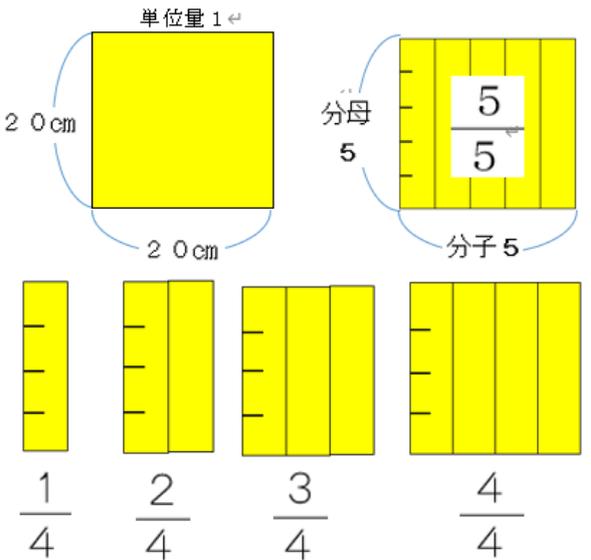
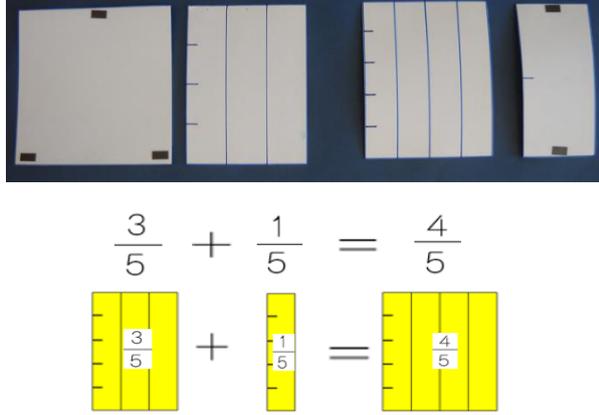


自作教具の活用事例

<p>【作品名】 分数タイル</p>	<p>【学校名】 日上市立会瀬小学校</p>
<p>【活用できる領域・教科等】 ・算数—分数の意味とそのつくり ・自立活動—コミュニケーションの向上</p>	<p>【制作者名】 武石 和美</p>
<p>【制作の意図】 算数を含めて学習の多くは具体から抽象（一般化）への経過をたどる。情緒的に不安定な子は授業に集中することが難しいが、「見る→操作する→一般化する」の過程の面白さに気づけば、学習課題に意欲的に向き合えると考える。また、可視化や操作を行う言語化は、意思の伝達や話し合いの質の向上を促す。量としての分数タイルがその支援の手立てとなる。</p>	<p>【使用方法】 ・教具として黒板タイルと児童用タイルの2種類を使用する。 ・児童自身が操作を通し、分数の意味やつくりを理解し、分数の大きさや加減の計算方法を導く。 ・分数の可視化と操作により、言葉を引き出し、説明するコミュニケーションの向上が図れる。</p>
<p>【制作上の工夫】 ・縦軸に分母、横軸に分子を表し、量として視覚化できる分数タイル（黒板・児童用）にする。 ・操作しながら、言語化を図り、説明できるように多数の異分母の分数タイルとする。 ・加減乗除の計算も有効に使えるようにする。</p>	<p>【見取り図】</p> 
<p>【写真】</p> 	<p>【使用効果と応用発展】 ・タイルの操作を通し、自分なりの言葉で説明し量としての分数の意味とつくりを知る。 ・タイルの計算方法が、そのまま分数のたし算やひき算の計算になり、学習支援に大きな効果をもたらしている。 ・相手にわかりやすく伝えようとする姿勢が増え、日常会話にも幅が感じられるようになっている。</p>
<p>【材料・材質・部品等】 ボール紙、 カラーボード（ポリスチレン：100円ショップ等で）</p>	